

1. 奨学金制度

1) 日本学生支援機構奨学金（旧日本育英会奨学金）

（省略）

第一種奨学金の貸与を受けた学生のうち、優れた業績を挙げたと認定された者は、奨学金の全額または半額が返還免除となります。

2) 明治大学大学院研究奨励奨学金

博士前期課程から博士後期課程への進学を奨励し、学位取得を目指す優秀な若手研究者を育成することを目的としています。対象者は、本学の大学院博士前期課程から博士後期課程文学研究科に入学した成績優秀者（研究奨励奨学金 A，入学定員の 50%）、博士前期課程文学研究科に入学した成績優秀者（研究奨励奨学金 B，入学定員の 20%）です。授業料の 2 分の 1 相当額が標準修了年限（博士後期課程 3 年，博士前期課程 2 年）にわたり給付されます。本人からの申請（応募）いかににかかわらず，研究科が独自に定めた選考基準により成績優秀者を選考します。

2. 研究支援制度

1) TA（Teaching Assistant）制度

学部・大学院の教育補助業務に一定期間従事するもので、学部や大学院教育におけるきめ細かい指導の実現と、大学院生が将来教員や研究者になるためのトレーニングの機会を提供することを目的としています。博士前期課程在籍者は学部の TA，博士後期課程在籍者は学部・博士前期課程の TA への応募資格があり、いずれも対象が大学院生であることを考慮して、業務内容が研究活動に支障のないよう十分配慮されています。報酬は 1 週 1 時間につき月額 5,700 円で，週 12 時間相当の業務をおこなうことにより，月額 68,000 円程度の収入になります。

2) 助手制度

博士後期課程在籍者を対象に、大学院に在籍したまま、本学学部の助手として従事する制度です。任期は 1 年，2 回まで更新が可能です。助手に採用された者は、専門分野の研究等に専念するほか、本学の教育補助業務に一定時間従事することが求められますが、大学院生であることを考慮し、業務内容が研究活動に支障のないよう配慮されます。また、採用中は専任教員に準じた給与が支給（月額 22~23 万円）されることにより、経済的に安定し、研究活動に専念できます。また、本学の社会保険にも加入することができます。採用資格および選考方法は各研究科の基礎となる学部により異なりますが、採用にあたっては、研究内容、研究計画、研究業績等に秀で、学位取得が見込まれる者等が重視されます。

3. 助成制度

1) 研究助成制度

大学院生による研究プログラム

社会を先導する力、様々な場面で通用するトランスファラブルスキルを持った研究者・高度職業人を育成することを目的として、大学院生自らが計画する研究プログラムに対して研究資金の一部を助成する制度です。海外研究に対しては、1件500,000円以内で採用件数10件程度、国内研究に対しては、1件150,000円以内で採用件数10件程度となっています。提出された研究計画をもとに選考します。

阿部英雄研究奨励金

明治大学文学部史学地理学科および大学院史学・地理学専攻の学生の研究を奨励するために設置された制度です。大学院生を対象とする「研究奨励金」の助成額は、1件20万円以内（複数の研究者による共同調査研究も可）で採用件数2件程度となっています。提出された研究計画をもとに選考します。

赤坂暢徳研究奨励金

明治大学文学部史学地理学科地理学専攻および大学院地理学専攻の学生の研究を奨励するために設置された制度です。大学院生を対象とする「研究奨励金」の助成額は、1件20万円以内（複数の研究者による共同調査研究も可）で採用件数2件程度となっています。提出された研究計画をもとに選考します。

2) 学会研究発表助成制度

日本学術会議に登録されている学会および海外で開催される国際学会で発表をおこなう大学院生に対して、交通費・参加登録費等の費用の一部を助成する制度です。助成回数は1名につき年2回で、内1回は海外における学会参加への助成も受けることができます。助成金額の上限は、発表参加登録料の30,000円と交通費が国内学会の場合30,000円、国外学会の場合最大100,000円（地域により異なる）です。

2) コピーカード助成

在籍する全大学院学生を対象に、在学中、毎年コピーカードを配付しています。博士後期課程は1000度数、博士前期課程は600度数です。

その他にも、学術論文執筆に関連する助成などが多数あります。